

計量経済 II：中間試験

村澤 康友

2019 年 11 月 26 日

注意：3 問とも解答すること。結果より思考過程を重視するので、途中計算等も必ず書くこと（部分点は大きいに与えるが、結果のみの解答は 0 点とする）。

1. (20 点) 以下の用語の定義を式または言葉で書きなさい（各 20 字程度）。
 - (a) 推測統計学
 - (b) 母集団分布
 - (c) (k 次の) 標本積率
 - (d) 漸近分散
2. (30 点) 分布表を用いて以下の問いに答えなさい。
 - (a) $X \sim \chi^2(5)$ とする。 $\Pr[a \leq X \leq b] = .99$ となる a, b を求めなさい。
 - (b) $Y \sim t(10)$ とする。 $\Pr[|Y| \leq c] = .95$ となる c を求めなさい。
 - (c) $Z \sim F(5, 10)$ とする。 $\Pr[d \leq Z \leq e] = .95$ となる d, e を求めなさい。なお $a \sim e$ はすべて正の実数 ($0, \infty$ は含まない) とする。
3. (50 点) 将棋の対局における先手の勝率 p の区間推定を考える。先手の勝ちを 1, 負けを 0 で表すと、(先手の) 対局結果は $\text{Bin}(1, p)$ にしたがう。無作為に選んだ n 局の対局結果 (X_1, \dots, X_n) の標本比率 (= 標本平均) を \hat{p} とする。
 - (a) $E(X_i)$ と $\text{var}(X_i)$ を求めなさい。
 - (b) $E(\hat{p})$ と $\text{var}(\hat{p})$ を求めなさい。
 - (c) \hat{p} の漸近分布を求めなさい。
 - (d) p の 95% 信頼区間を近似的に求めなさい。
 - (e) $n = 100$, $\hat{p} = .5$ として p の 95% 信頼区間を近似的に計算しなさい。

解答例

1. 統計学の基本用語

(a) 統計的推測の理論体系.

- 「統計的推測」の定義のみは 1 点減.

(b) 母集団における各個体の属性値の分布.

- 「母集団の分布」は数値の分布でないので 0 点.

(c) $\hat{\mu}_k := (1/n) \sum_{i=1}^n X_i^k$.

- 「標本の積率」は「標本の k 乗の期待値」の意味になるので 0 点.

(d) 漸近分布の分散.

- 「漸近分布」の定義は 0 点.

2. 分布表の読み方

(a)

$$\begin{aligned}\Pr[a \leq X \leq b] &= \Pr[X \geq a] - \Pr[X > b] \\ &= .99\end{aligned}$$

これを満たす例は

$$\begin{aligned}\Pr[X \geq a] &= .995 \\ \Pr[X > b] &= .005\end{aligned}$$

χ^2 分布表より $X \sim \chi^2(5)$ なら $a = .411742$, $b = 16.7496$.

- 各 5 点.

(b) t 分布の対称性より

$$\begin{aligned}\Pr[|Y| \leq c] &= \Pr[-c \leq Y \leq c] \\ &= 1 - 2 \Pr[Y > c] \\ &= .95\end{aligned}$$

すなわち

$$\Pr[Y > c] = .025$$

t 分布表より $Y \sim t(10)$ なら $c = 2.228$.

(c)

$$\begin{aligned}\Pr[d \leq Z \leq e] &= 1 - \Pr[Z < d] - \Pr[Z > e] \\ &= .95\end{aligned}$$

これを満たす例は

$$\begin{aligned}\Pr[Z < d] &= \Pr\left[\frac{1}{Z} > \frac{1}{d}\right] \\ &= .025 \\ \Pr[Z > e] &= .025\end{aligned}$$

$Z \sim F(5, 10)$ なら $1/Z \sim F(10, 5)$ なので F 分布表より $1/d = 6.619$, すなわち $d = 1/6.619$. 同じく F 分布表より $Z \sim F(5, 10)$ なら $e = 4.236$.

- 各 5 点.

3. 母比率の信頼区間

(a)

$$\begin{aligned} E(X_i) &:= 1 \cdot p + 0 \cdot (1 - p) \\ &= p \\ \text{var}(X_i) &= E(X_i^2) - E(X_i)^2 \\ &= E(X_i) - E(X_i)^2 \\ &= p - p^2 \\ &= p(1 - p) \end{aligned}$$

- 各 5 点.
- p で表さなければ 0 点.

(b)

$$\begin{aligned} E(\hat{p}) &= E\left(\frac{X_1 + \cdots + X_n}{n}\right) \\ &= \frac{E(X_1) + \cdots + E(X_n)}{n} \\ &= \frac{np}{n} \\ &= p \\ \text{var}(\hat{p}) &= \text{var}\left(\frac{X_1 + \cdots + X_n}{n}\right) \\ &= \frac{\text{var}(X_1) + \cdots + \text{var}(X_n)}{n^2} \\ &= \frac{np(1 - p)}{n^2} \\ &= \frac{p(1 - p)}{n} \end{aligned}$$

- 各 5 点.
- $\mu, \sigma^2/n$ は証明があれば各 2 点.

(c)

$$\hat{p} \overset{a}{\sim} N\left(p, \frac{p(1 - p)}{n}\right)$$

- 前問の解答と整合的なら OK.
- 分布の母数に統計量があったら 0 点.

(d) 標準化すると

$$\frac{\hat{p} - p}{\sqrt{p(1 - p)/n}} \overset{a}{\sim} N(0, 1)$$

または

$$\frac{\hat{p} - p}{\sqrt{\hat{p}(1 - \hat{p})/n}} \overset{a}{\sim} N(0, 1)$$

標準正規分布表より

$$\Pr\left[-1.96 \leq \frac{\hat{p} - p}{\sqrt{\hat{p}(1 - \hat{p})/n}} \leq 1.96\right] \approx .95$$

ここで

$$\begin{aligned} -1.96 \leq \frac{\hat{p} - p}{\sqrt{\hat{p}(1-\hat{p})/n}} \leq 1.96 &\iff -1.96\sqrt{\frac{\hat{p}(1-\hat{p})}{n}} \leq \hat{p} - p \leq 1.96\sqrt{\frac{\hat{p}(1-\hat{p})}{n}} \\ &\iff \hat{p} - 1.96\sqrt{\frac{\hat{p}(1-\hat{p})}{n}} \leq p \leq \hat{p} + 1.96\sqrt{\frac{\hat{p}(1-\hat{p})}{n}} \end{aligned}$$

したがって p の 95 %信頼区間は近似的に

$$\left[\hat{p} - 1.96\sqrt{\frac{\hat{p}(1-\hat{p})}{n}}, \hat{p} + 1.96\sqrt{\frac{\hat{p}(1-\hat{p})}{n}} \right]$$

- 前問の解答の標準化で 2 点.

(e) $n = 100$, $\hat{p} = .5$ を代入すると

$$\begin{aligned} \sqrt{\frac{\hat{p}(1-\hat{p})}{n}} &= \sqrt{\frac{.5(1-.5)}{100}} \\ &= \frac{.5}{10} \\ &= \frac{1}{20} \end{aligned}$$

したがって 95% 信頼区間は

$$\left[.5 - \frac{1.96}{20}, .5 + \frac{1.96}{20} \right] \approx [.402, .598]$$